

平成 29 年度  
吉野町煉瓦倉庫リサーチ  
報告書  
(概要版)

特定非営利活動法人 harappa

2018 年 3 月

## 1. 文献資料調査

- i) 福島藤助および福島醸造に関する文献
- ii) 吉井勇および朝日シードルに関する文献
- iii) 吉野町煉瓦倉庫およびその周辺に関する文献
- iv) 福島醸造および朝日シードル時代の風土文化に関する文献
- v) りんご及び醸造に関する文献
- vi) 煉瓦館再生の会および3度の奈良美智展について

## 2. 図面資料調査

- i) 福島醸造株式会社時代配置図

## 3. 写真資料調査

- i) 福島藤助および福島醸造に関する写真資料について
- ii) 朝日シードル株式会社弘前工場時代の写真資料について

## 4. ヒアリング調査

- i) 福島藤助に関するヒアリング

## 5. 現物資料調査

- i) 青森県立郷土館所蔵の福島藤助および福島醸造に関する資料について
- ii) 福島醸造に関する資料について
- iii) 吉野町煉瓦倉庫内に残されていた現物資料について

## 1. 文献資料調査

### i) 福島藤助 (1871年 [明治4年] - 1925年 [大正14年]) および福嶋醸造に関する文献

- ・『日本醸造協会雑誌 18巻4号』(1923年 [大正12年])  
[/https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/18/4/18\\_4\\_49/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/18/4/18_4_49/_pdf)
- ・『日本醸造協会雑誌 18巻5号』(1923年 [大正12年])  
[/https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/18/5/18\\_5\\_41/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/18/5/18_5_41/_pdf)
- ・『日本醸造協会雑誌 24巻6号』(1929年 [昭和4年])  
[/https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/24/6/24\\_6\\_65/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/24/6/24_6_65/_pdf)
- ・『弘前商工会議所五十年史』(発行：弘前商工会議所/1958年 [昭和33年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前市史 明治・大正・昭和編』(発行：弘前市/1964年 [昭和39年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前商工会議所六十年史』(発行：弘前商工会議所/1968年 [昭和43年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『青森県人名大事典』(発行：東奥日報社/1969年 [昭和44年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『ここに人ありきI』(著：船水清/発行：陸奥新報社/1970年 [昭和45年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『日本醸造協会雑誌 66巻4号』(1971年 [昭和46年])  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/66/4/66\\_4\\_317/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/66/4/66_4_317/_pdf)
- ・『南を図る 一旧官立弘前高等学校創立五十五周年記念誌一』(発行：旧官立弘前高等学校同窓会/1975年 [昭和50年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『なつかしの弘前 一庶民の歴史一』(著：笹森貞二・森山泰太郎・千葉寿夫/発行：東奥日報社/1975年 [昭和50年])
- ・『弘前商工会議所六十年史』(発行：弘前商工会議所/1968年 [昭和43年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前商工会議所七十年史』(発行：弘前商工会議所/1979年 [昭和54年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『ふるさとのあゆみ 弘前III』(編：山下笙介/発行：津軽書房/1982年 [昭和57年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前今昔物語』(著：荒井清明/発行：北方新社/1985年 [昭和60年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『中学生のための続弘前人物志』(編：弘前人物志編集委員会/発行：弘前市教育委員会/1990年 [平成2年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・新聞記事「青森20世紀の群像 福島藤助 酒造業界に一大革新」(東奥日報 夕刊 1999年 [平成11年] 6月11日 掲載)

- ・『青森県人名事典』（発行：東奥日報社/2002年〔平成14年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『中学生のための弘前人物志 平成21年度版』（編：弘前人物志編集委員会/発行：弘前市教育委員会/2009年〔平成21年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『月刊 醸界春秋 No.90（2004年6月号）』（出版：醸界通信社/2004年〔平成16年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『津軽ひろさき検定 公式テキストブック』（編：津軽ひろさき検定実行委員会/発行：弘前観光コンベンション協会/2008年〔平成20年〕）

ii) 吉井勇（1900年〔明治33年〕～1982年〔昭和57年〕）および朝日シードルに関する文献

- ・『日本醸造協会雑誌 46巻4号』（1951年〔昭和26年〕）  
/https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/46/4/46\_4\_135/\_pdf)
- ・『日本醸造協会雑誌 46巻5号』（1951年〔昭和26年〕）  
/https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1915/46/5/46\_5\_165/\_pdf)
- ・新聞記事「弘前にリンゴジュース会社」（東奥日報 1953年〔昭和28年〕5月5日掲載）
- ・新聞記事「この人・実業家吉井勇氏」（東奥日報 夕刊 1953年〔昭和28年〕5月8日掲載）
- ・新聞社説「リンゴ販売対策の問題点」（東奥日報 1953年〔昭和28年〕8月12日掲載）
- ・新聞記事「リンゴジュース愈よ企業化」（東奥日報 1953年〔昭和28年〕8月23日掲載）
- ・新聞記事「リンゴチャンペンを醸造計画」（東奥日報 1954年〔昭和29年〕8月1日掲載）
- ・新聞記事「りんご加工の新分野 朝日シードル今秋操業」（陸奥新報 1954年〔昭和29年〕8月28日掲載）
- ・新聞記事「家庭向けの果実酒 きょう朝日シードル新発売」（陸奥新報 1956年〔昭和31年〕1月8日掲載）
- ・新聞広告「朝日シードル」（陸奥新報 1956年〔昭和31年〕1月10日掲載）
- ・「昭和30年産りんご現況報告書」（発行：青森県/1955年〔昭和30年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『弘前商工会議所五十年史』（発行：弘前商工会議所/1958年〔昭和33年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『弘前市史 明治・大正・昭和編』（発行：弘前市/1964年〔昭和39年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『弘前商工会議所六十年史』（発行：弘前商工会議所/1968年〔昭和43年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『青森県人名大事典』（発行：東奥日報社/1969年〔昭和44年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『風雪の人脈 第三部 経済編』（著：朝日新聞青森支局/1985年〔昭和61年〕/弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『青森県人名事典』（発行：東奥日報社/2002年〔平成14年〕/弘前市立弘前図書館蔵）

- ・『新編 弘前市史 一通史編 5 (近・現代 2)』(発行：弘前市/2005年 [平成 17年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・新聞寄稿コラム「談話室・日本初のシールドル」(陸奥新報 1995年 [平成 7年] 4月 27日 掲載 /田中久元)
- ・ウェブ記事『ニッカウキスキー弘前工場 操業 50周年記念特集』  
(ニッカウキスキー公式サイト/2009年 [平成 21年] 公開)

### iii) 吉野町煉瓦倉庫およびその周辺に関する文献

- ・『弘前市史 明治・大正・昭和編』(発行：弘前市/1964年 [昭和 39年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前II 絵と文』(絵：羽場徳蔵/文：笹森貞二、千葉寿夫、吉村和夫/発行者：高橋彰一/1977年 [昭和 52年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『写真・弘前九十年 一市制施行 90周年記念一』(発行：弘前市/1979年 [昭和 54年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前の散歩みち』(著：藤田本太郎/発行：北方新社/1986年 [昭和 61年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前 わが愛の迷宮』(著：長部誠/文・長部日出雄/発行：用美社/1988年 [昭和 63年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『青森県の近代化遺産 一近代化遺産総合調査報告書一』(発行：青森県教育委員会/2000年 [平成 12年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『目で見る 弘前・黒石・津軽の 100年』(監修：荒井清明/発行：郷土出版社/2000年 [平成 12年])
- ・『新編 弘前市史 一通史編 4 (近・現代 1)』(発行：弘前市/2005年 [平成 17年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『津軽ひろさき検定 公式テキストブック』(編：津軽ひろさき検定実行委員会/発行：弘前観光コンベンション協会/2008年 [平成 20年])
- ・『明治二年弘前絵図 一人物と景色を探して一』(著：広瀬寿秀/2011年 [平成 23年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・映画『宵待草』(監督：神代辰巳/配給：日活/製作年：1974年 [昭和 49年])

### iv) 福島醸造および朝日シールドル時代の風土文化に関する文献

- ・『青森県弘前市明細絵図』(発行元：長谷川清太郎/1893年 [明治 26年] /弘前市立弘前図書館蔵)
- ・『弘前市史 明治・大正・昭和編』(発行：弘前市/1964年 [昭和 39年] /弘前市立弘前図書館蔵)

- ・『方言詩集 津軽の詩』（発行：津軽書房/1967年 [昭和 42年]）
- ・『なつかしの弘前 一庶民の歴史一』（著：笹森貞二・森山泰太郎・千葉寿夫/発行：東奥日報社/1975年 [昭和 50年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『新津軽風土記 わがふるさと 第一巻』（著：船水清/1980年 [昭和 55年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『新編 弘前市史 一通史編 4（近・現代 1）』（発行：弘前市/2005年 [平成 17年] /弘前市立弘前図書館蔵）

#### v) りんご及び醸造に関する文献

- ・『弘前市史 明治・大正・昭和編』（発行：弘前市/1964年 [昭和 39年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『弘前商工会議所六十年史』（発行：弘前商工会議所/1968年 [昭和 43年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『ここに人ありき 2』（著：船水清/発行：陸奥新報/1970年 [昭和 45年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『風雪の人脈 第三部 経済編』（著：朝日新聞青森支局/1985年 [昭和 61年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『りんご加工業発達史 一青森県を中心に』（著：笹森正/発行：北の街社/1998年 [平成 10年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『新編 弘前市史 一通史編 5（近・現代 2）』（発行：弘前市/2005年 [平成 17年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『図説 弘前・黒石・中南津軽の歴史』（監修：長谷川成一/出版：郷土出版社/2006年 [平成 28年] /弘前市立弘前図書館蔵）
- ・『津軽ひろさき検定 公式テキストブック』（編：津軽ひろさき検定実行委員会/発行：弘前観光コンベンション協会/2008年 [平成 20年]）

#### vi) 煉瓦館再生の会および3度の奈良美智展について

- ・新聞記事「木版画美術館建設の夢 煉瓦倉庫再生めざす」（陸奥新報 1991年 [平成 3年] 4月 22日 掲載）
- ・新聞寄稿コラム「リレー随筆 美術館に託す夢」（陸奥新報 1991年 [平成 3年] 5月 22日 掲載）
- ・新聞記事「目指すは美術館建設 19日から版画展」（陸奥新報 1991年 [平成 3年] 6月 18日 掲載）

- ・新聞記事「レンガ倉庫で街づくりの夢 保存し美術館に」（東奥日報 1991年〔平成3年〕6月18日掲載）
- ・新聞記事「現代日本版画展始まる」（陸奥新報 1991年〔平成3年〕6月20日掲載）
- ・新聞記事「現代日本版画展 著名作家38人」（東奥日報 1991年〔平成3年〕6月20日掲載）
- ・新聞寄稿コラム「美術通信 煉瓦館再生に向けて 木版画美術館構想への一歩」（陸奥新報 1991年〔平成3年〕7月10日掲載/村上善男）
- ・新聞寄稿コラム「レンガ美術館」（東奥日報 1992年〔平成4年〕6月4日掲載/田中久元）
- ・新聞コラム「アート点描 赤レンガ保存運動」（東奥日報 1992年〔平成4年〕7月4日掲載）
- ・新聞記事「総合芸術館に再生 市、買い取り改造へ」（東奥日報 1994年〔平成6年〕4月24日掲載）
- ・新聞記事「赤レンガ倉庫が美術館に 弘前市が「再生」の方針」（朝日新聞 1994年〔平成6年〕7月12日掲載）
- ・新聞記事「弘前の赤レンガ ライトアップ」（陸奥新報 1994年〔平成6年〕10月22日掲載）
- ・新聞記事「れんが倉庫でりんご酒を飲もう シードルゆかりの地 40年前には製造工場 芸術館として再生へ」（東奥日報 1994年〔平成6年〕11月2日掲載）
- ・新聞記事「れんが造り倉庫でリンゴ料理楽しむ 弘前・アップルパーティ'94」（陸奥新報 1994年〔平成6年〕11月6日掲載）
- ・新聞記事「りんごの日に乾杯！ 弘前でアップルパーティー」（東奥日報 1994年〔平成6年〕11月6日掲載）
- ・新聞記事「れんが倉庫の活用は？ 弘前のジャパンアップルフェア あす文化講座」（陸奥新報 1996年〔平成8年〕11月3日掲載）
- ・新聞記事「リンゴにちなみ多彩なイベント きょうから弘前でアップルフェア」（東奥日報 1996年〔平成8年〕11月4日掲載）
- ・新聞記事「津軽発信の施設に アップルカレッジ レンガ倉庫へ提案」（陸奥新報 1996年〔平成8年〕11月5日掲載）
- ・新聞記事「弘前・煉瓦倉庫活用法 周辺一体型公園を芸術文化の基地に」（東奥日報 1996年〔平成8年〕11月5日掲載）
- ・新聞記事「赤れんが倉庫取得断念」（陸奥新報 2001年〔平成13年〕11月11日掲載）
- ・新聞記事「奈良美智さん現地訪れ展示準備」（東奥日報 2002年〔平成14年〕3月29日掲載）
- ・『美術手帖 2002年10月号 vol.54』「COMING BACK HOME YOSHITOMO NARA in Hirosaki summer, 2002」「禁じられた遊び」立木祥一郎（発行：美術手帖社/2002年〔平成14年〕）

・『新編 弘前市史 一通史編 5 (近・現代 2)』(発行：弘前市/2005年 [平成 17年] /弘前市立弘前図書館蔵)

・『美術手帖 2006年 8月号 vol.58』「特集 アートの旅にでかけよう」(発行：美術手帖社/2006年 [平成 18年])

・『美術手帖 2006年 10月号 vol.60』(発行：美術手帖社/2006年 [平成 18年])

「AtoZ レビュー 分かち合う展覧会」児島やよい

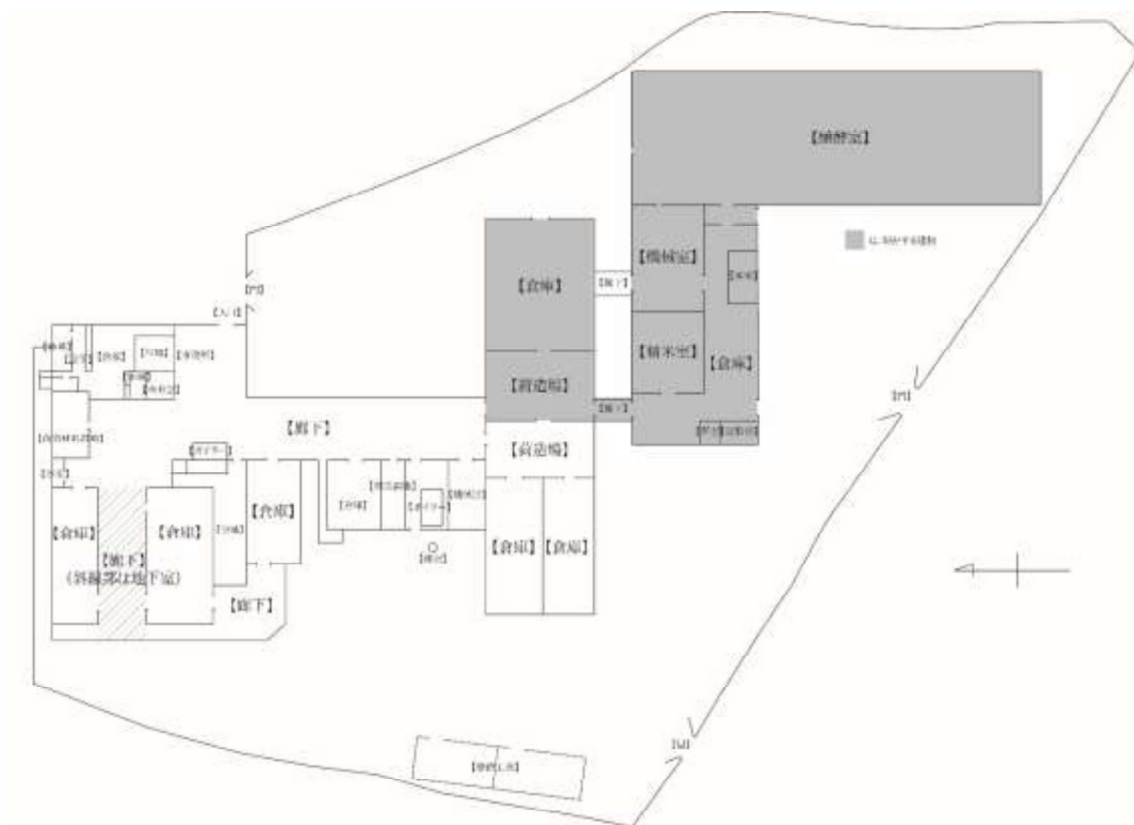
「AtoZ ドキュメント 閉ざされた窓 開かれた窓」立木祥一郎

・映画『NARA：奈良美智との旅の記録』(監督：坂部康二/配給：東北新社/製作年：2006年 [平成 18年])

## 2. 図面資料調査

### i) 福嶋醸造株式会社時代配置図

青森県立郷土館所蔵の「福嶋醸造株式会社平面図」(1925年[大正 14年]以降と推定される)に基づき、配置図を作成した。





### 3. 写真資料調査

#### i) 福島藤助および福島醸造に関する写真資料について



写真 i-1. 福島藤助肖像写真 [撮影年不明/福島家蔵]

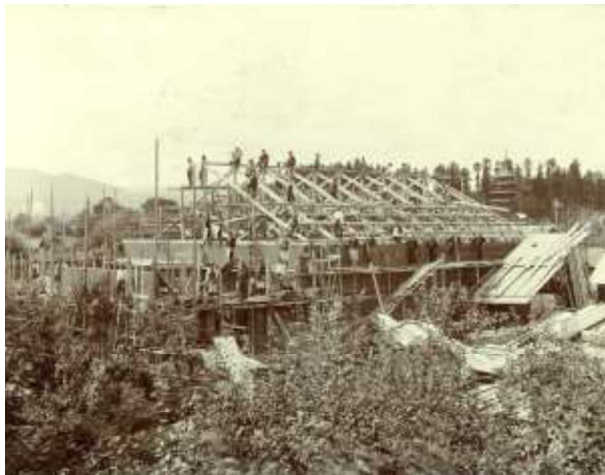


写真 i-2. 建設中の吉野町煉瓦倉庫 [撮影年：1907年（明治40年）/福島家蔵]

福島醸造株式会社時代配置図(2.図面資料調査)および右奥に最勝院五重塔が写っていることから、現存しない建物のうち、C棟の西側に位置した桁行10間、梁間8間の建物と推測される。構造は煉瓦造(イギリス積)、屋根部分は木造小屋組。和装姿に帽子をかぶった福島藤助の姿が確認できるほか、大工や煉瓦職人、合計35人が写っている。被写体の中には幼女を抱えている者もいる。

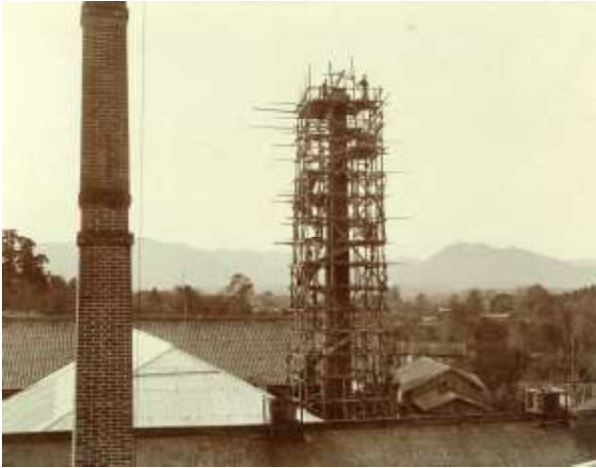


写真 i-3. 建設中の吉野町煉瓦倉庫 [撮影年不明/福島家蔵]

背景の山並みより写真 i-2 と近い場所で写された写真であることがわかる。中央の足場が組まれている煙突は福島醸造株式会社時代配置図（2.図面資料調査）に印されている煙突であり、写っている建物はすべて現存していないと考えられる。

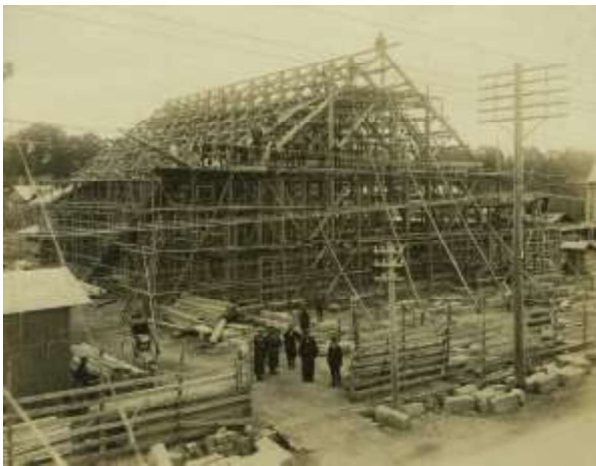


写真 i-4. 建設中の弘前座 [撮影年月日：1919年（大正8）年5月28日/福島家蔵]

1917年（大正6年）に火事のため全焼した榎木座を福島藤助が中心となり弘前座として再建した。写真裏面には、「工事総監督・福島藤助、工場主任・宮城喜兵衛、棟梁・花田林蔵、現場係・白澤逸郎、設計顧問・安美賀男、楯部」と書かれ、「株式會社 弘前座建築事務所 大正八年五月廿八日」と判が押されている。

れ、「株式會社 弘前座建築事務所 大正八年五月廿八日」と判が押されている。



写真 i-5. 富名醸造の開業祝いの様子 [撮影年：1918年（大正7年）年2月/福島家蔵]

1918年（大正7年）年2月に設立された富名醸造株式会社の開業祝いの様子。被写体の人物には福島藤助のほか、その長男の兵助もいる。



写真 i-6. 建設中の陸奥製糸会社 [撮影年：1919年（大正8年）/福嶋家蔵]

富田に1919年（大正8年）年6月に建てられた陸奥製糸工場の建設中の様子。背景には旧制弘前中学校（現・弘前高等学校）の校舎と思われる建物の姿も確認できる。



写真 i-7. 福島酒造 [撮影年不明/福嶋家蔵]

左側煙突の右奥に旧弘前市立図書館と思われる建物が写っている。二本の煙突や切妻屋根の上に確認できる構造物など、写真 i-3 に写っているものと同一であると仮定すると、この写真も吉野町の煉瓦倉庫を写したものと考えられる。写真左側

に見える煉瓦造の建物の妻面は、屋根の勾配や上部の開口窓の形状から判断すると、現存するC棟内壁と一致するため。C棟がこの建物に後続するかたちで建設される以前の風景である可能性がある。



写真 i-8. 建築中の煉瓦倉庫内部 [1923年（大正12年）頃/福嶋家蔵]

建物中央には、リベットにより接合された鉄柱が写り、現存するB棟の様子であることがわかる。左側壁面と奥側壁面に入り口と思われる開口部があるため、南側から北に向けて撮られたと推測される。



写真 i-9.建設中の岩木川福島発電所 [撮影年：1921年（大正10年）～1923年（大正12年）頃/青森県立郷土館蔵]

相馬村紙漉沢にて、1921年 [大正10年] に水力発電所の建設工事が着工し、3年目に完成。写真中央の煉瓦造りの建物は、現存し、吉井酒造岩木川発電所として、現在も発電事業を行っている。



写真 i-10.岩木川福島発電所 [撮影年不明/青森県立郷土館蔵]

右上の看板には「岩木川発電所 日本酒造工業株式会社」と書かれている。



写真 i-11.岩木川福島発電所 [撮影年不明/青森県立郷土館蔵]

発電所内部の様子。



写真 i-12.建設中の岩木川福島発電所 [撮影年：1921年（大正10年）～1923年（大正12年）頃/青森県立郷土館蔵]

発電所の場所は、岩木川の対岸の山のふもとにわたるもので、岩木川を堰き止めなくてはならない大工事であった。写真には多くの作業員のほか、背景には岩木山が写っている。



写真 i-13.建設中の岩木川福島発電所 [撮影年：1921年（大正10年）～1923年（大正12年）頃/青森県立郷土館蔵]

関係者や作業員と思われる人々との集合写真。彼らの家族と思われる子どもたちも映っている。下部に半纏を羽織った2名の襟に福島酒造のマーク「カクイ」が印されている。

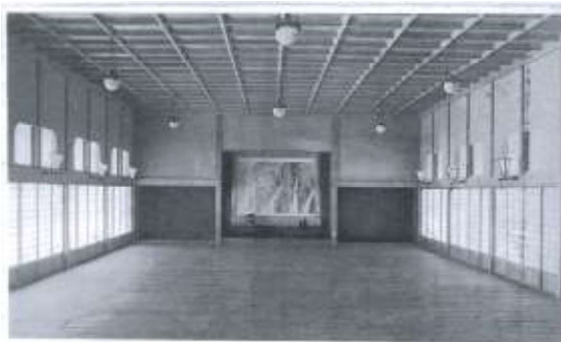


写真 i-14.長安倶楽部・大広間 [撮影年不明/個人蔵]

1920年〔大正9年〕に建設された「長安倶楽部」。150畳敷の大広間。中央の掛軸は弘前市出身の日本画家・野沢如洋が手がけたもの。「長安倶楽部」は、福島が好んだ杜甫の誌「李白一斗詩百篇、長安市上酒家眠

る。」にちなみ命名された。



写真 i-15. [撮影年不明/個人蔵]

左上、左下の写真は天井の様子から B 棟 2F  
と考えられ、木桶が並んでいる。左下の写真  
はパイプがあり、機械によって冷却された空  
気を送っていると思われる。



写真 i-16. 麴づくり作業の様子 [撮影年不明/個人蔵]



写真 i-17. A 棟・B 棟の外観 [撮影年不明/個人蔵]

A 棟・B 棟 1 階の壁面に現在は埋められた窓がある。A 棟 2 階に現  
在存在する出窓のような構造物はこの写真にはない。



写真 i-18. [撮影年不明/個人蔵]

山道町側からみた吉野町煉瓦倉庫。左奥にB棟の側面が見える。馬ソリが止まっている場所が入口。



写真 i-19. [撮影年不明/個人蔵]

撮影場所は不明だが、建物に立てかけられている看板に「吉野桜 優等賞」と書かれている。

ii) 朝日シードル株式会社弘前工場時代の写真資料について

ニッカウキスキー株式会社が所蔵する吉野町煉瓦倉庫での朝日シードル株式会社弘前工場時代の写真。当時の従業員が記録した [撮影年：写真 ii-3 により 1960 年（昭和 35 年）～1965 年（昭和 40 年）頃と推定される]。

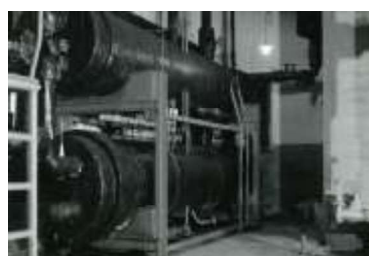
A 棟 1 階・濾過室/冷却器



A 棟 1 階・濾過室/冷却器



A 棟 1 階・冷却室/ブレインタンク

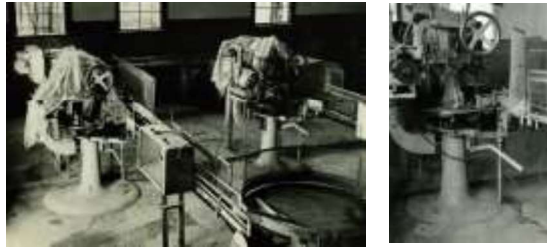




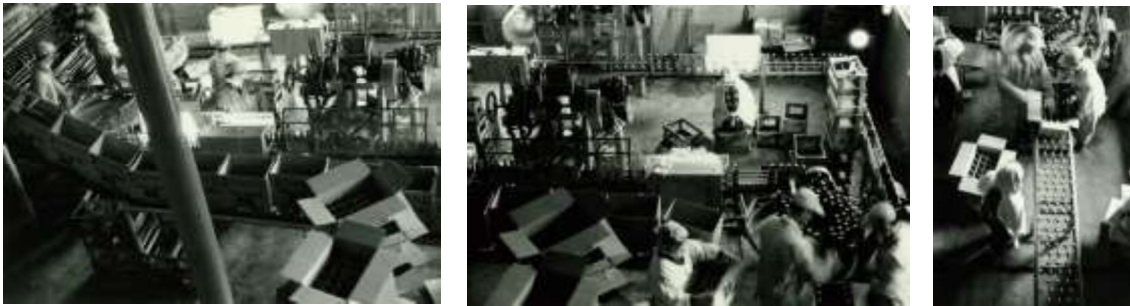
A棟1階・ラベル貼付作業のためのターンテーブル



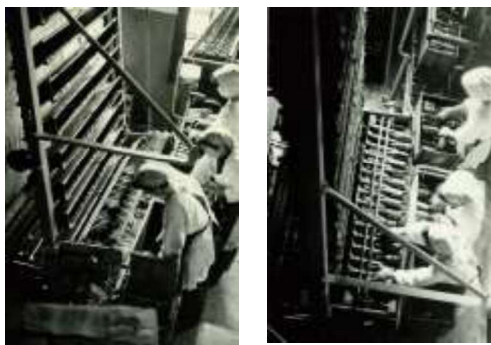
A棟1階・ラベル貼付のためのラベラー（奥にある窓は現在塞がれている）



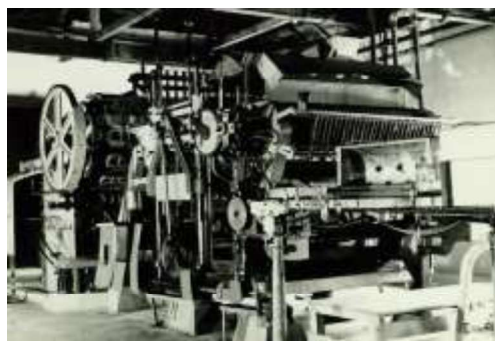
A棟1階・箱詰作業



A棟1階・浸瓶機



A棟1階・洗瓶機



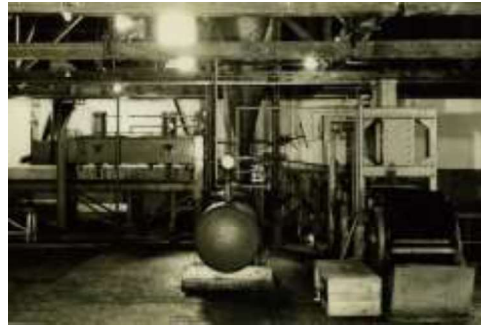
A棟2階・ホッパー

(繰上機によって運ばれたりんごを受け、りんごを砕く)



A棟2階・搾汁

(従業員によって開発)



A棟2階・パストライザー (瓶詰されたシールドルを殺菌。上部にトラス構造の骨組が見える)



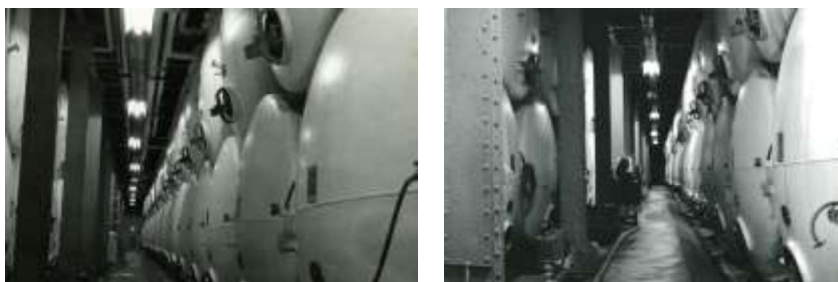
A棟2階・瓶詰機



A棟2階・手前より瓶詰機、パストライザー、搾汁機



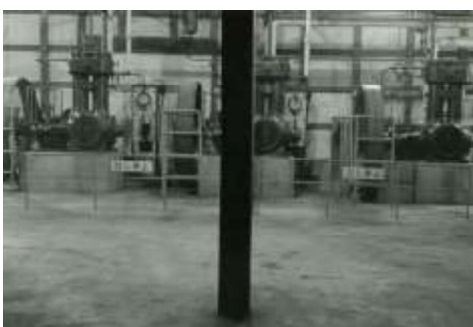
B 棟 1 階・貯蔵室内にある貯蔵タンク（右側 26 千リットル [48 本]、左側 29 千リットル [50 本]）



B 棟 2 階・資材倉庫および資材倉庫からでるローラーコンベア



C 棟・機械室にあるアンモニア冷凍機



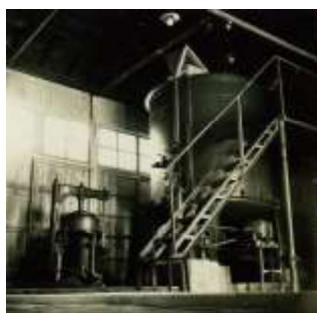
C 棟・工務室



売れ残ったシードルを蒸留酒にするための蒸留器（建物は現存していない）



沔過器に使用するフィルター作成のため綿を洗浄する機械と型どる器械



C棟西側に建てられていたボイラー室の内部の様子（建物は現存していない）



C棟北側に建てられていた発酵タンク小屋の内部の様子（建物は現存していない）



朝日シードルの商品と箱詰めしたケース





写真 ii-1. 朝日シードル株式会社 弘前工場入口

柱の看板に「朝日シードル株式会社弘前工場」と書かれている。写されている建物は現存しない。福島醸造時と入口が変わっていなければ、山道町の道路側から写したものと思われる。



写真 ii-2. 日本酒造工業株式会社入口  
敷地内にあったとされる日本酒造工業株式会社。看板が写されているが文字の判別はつかない。



写真 ii-3. 敷地内

C棟北側の様子。右の白壁の建物は2008年〔平成20年〕までは残っていた。

写真 ii-4. A 棟西側

右奥の倉庫は現存する A 棟で壁面上部にリンゴ繰上機が設置されているのが見える。手前の木造の小屋はリンゴ洗浄小屋（写真 ii-5）。A 棟の屋根には現存しない構造物が見える。



写真 ii-5. リンゴ洗浄小屋内部

リンゴを洗浄する円柱状の機械が 2 基確認できる。右手前のコンベアが洗浄したリンゴを 2 階にあげるための繰上機。

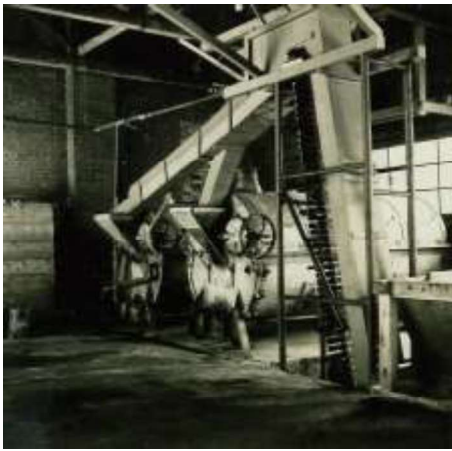


写真 ii-6. B 棟西側

奥に現存する B 棟が見える。その手前の右側には小屋が建てられている。左側の庇で覆われているところは搬入口。





写真 ii-7.

現存していない建物。中央右の円柱状の煙突が「2. i) 福嶋醸造株式会社時代配置図」に印されている煙突の可能性が  
ある。



写真 ii-8. C 棟東側の井戸

工場内の水を貯うための井戸、A 棟の梁に設置されている巨大なタンクに貯水され、工場内に配水されていた。2008 年 [平成 20 年] までに埋められるまで、井戸の穴は残っていた。  
A 棟の屋根には現存しない構造物が見える。

#### 4. ヒアリング調査

##### i) 福島藤助に関するヒアリング

日時：2017（平成29）年9月5日（火）16:30～17:30

福島藤助のご遺族にヒアリングを行った。結果については下記のとおり。

- ・福島藤助および福島醸造に関する資料は、「みちのく歴史人物資料館」（2014年〔平成26年〕閉館）に所蔵された後、現在は、青森県立郷土館に保管されている。
- ・旧制弘前高等学校が弘前に開校するにあたり、現在の弘前大学周辺の土地1万坪を寄付し、その功績を讃え敷地内に福島藤助の胸像があったとのことだが、戦時中の1944年（昭和19年）頃に津軽為信像と同様、「金属回収令」により供出された。
- ・弘前市出身の日本画家・野沢如洋（のざわ・じょよう）を支援し、スペインなどへの渡航の際にも援助をしていた。
- ・水力発電所建設中に、洪水にて3度も大きく破損し、修復に莫大な費用がかかり、事業の圧迫へとつながった。
- ・お酒は多くは飲めずにいたが、「あぶせんべい」を好み、よく食べていた。
- ・長安倶楽部および自宅の土地は、住吉神社の土地を分譲してもらった。長安倶楽部（現・弘前保健所跡）の前の道路は住吉神社の参道であった。



## 5. 現物資料調査

### i) 青森県立郷土館所蔵 福島藤助および福島醸造に関する資料について

日時:2017(平成 29)年 11 月 29 日 (水) 13:30～15:30

場所:青森県立郷土館

#### ○「貧乏徳利 (美濃焼)」

計 3 点、屋号や町名、通し番号が書かれてある。

- ①「イ 醸造」「支店」「茂森町」
- ②「イ 支店」「茂森町」「百三十三」
- ③「イ 支店」「元寺町」「五百三十」



貧乏徳利とは、酒屋（おもに醸造元）小売り用に貸し出した容器。貸し徳利、通い徳利とも呼ばれ、ガラス瓶が普及する大正時代末頃までの半世紀ほどのあいだにもっとも多用された。あとで回収しやすいよう通常、銘柄名、酒屋名、地名、通し番号などが記されている。（参考文献：神崎宣武 『酒の日本文化』、角川書店、1991 年）

また当時の広告から、福島酒造では当初酒造をはじめた茂森町のほか、元寺町にも支店があったことが確認できている。（参考文献：小池澄三『奥羽六県営業案内』、秀文社、1916 年

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/950477/428>)

#### ○「袖樽」（「指樽（さしだる）」「はんび樽」とも）

祝いごとの場で使われる酒を入れる樽。樽が入れられた容器は台座にもなる。持ち運びの際は背負って運んでいた。（参考文献：喜田川季荘編『守貞謾稿 後集巻 1』、江戸後期

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2592417/15>)



○棒櫂

酒造の工程において、攪拌などに用いられる棒。

(参考文献：黒須猛行「酒母(1)」第7図、『日本醸造協会誌』第93号5巻、1998年

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1988/93/5/93\\_5\\_334/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1988/93/5/93_5_334/_pdf/-char/ja)



○一升籠



○名称不明 (SKK-1 川口 SENPAKU)

おそらくはあるものを粉末状あるいは細かくするための機械



○名称不明 (DARUMA. S)

おそらくは打栓機



○ホーロー製ろうと（酒造道具）



○名称不明（酒造道具）

目盛のついた棒、用途不明



## ii) 福嶋醸造に関する資料について

○風呂敷（個人蔵）「カクイ」の屋号とともに、福嶋醸造株式会社と書かれた風呂敷。



iii) 吉野町煉瓦倉庫内に残されていた現物資料について

○出勤表 (A 棟 2 階)

朝日シールド時、事務室であった部屋に、いくつか直線上に釘の刺さった長方形の黒板。  
現在も薄っすらと名前が書かれた跡があり、釘に出勤札をさげ、出勤表として使用されていたものと推定される。



○貯蔵タンク管理表 (A 棟 2 階)

朝日シールド時、事務室であった部屋に、番号がふられた円が並んだ黒板。円は全部で 125 個あり、貯蔵庫にあった 99 本の貯蔵タンク (B 棟 1 階) のほか、別棟の発酵室のタンクなどを管理する表。現在も日付などの跡が残っている。



○貯水タンク（A棟2階）

A棟2階の梁の上に設置されている巨大な金属の貯水タンク2基。前述の井戸（写真 ii-8）から組み上げた水をため、工場内に配水していた。タンクはその構造上、福嶋醸造時代に設置されたものと思われる。B棟1階の鉄柱と同じく、リベット溶接で作られ、大きい方のタンクには外側に白いペンキで目盛りが表示されている。



○札「火元取締責任者」



A棟2階の培養室の前室入口上部に、「火元取締責任者 依田公介」と書かれた札が下げられている。

○最新世界大地図（キング第26巻第10号付録）

A棟2階の培養室の前室壁面に貼られている世界地図。大日本雄辯會講談社により1925年（大正14年）から1943年（昭和18年）、1946年（昭和21年）から1957年（昭和32年）まで刊行された大衆娯楽雑誌。1950年〔昭和25年〕に出版された第26巻第10号の付録。日本より以東は破損している。

（参考文献：CiNii ウェブサイト <https://ci.nii.ac.jp>, 国立国会図書館オンライン

<http://www.ndl.go.jp>）



○A 等西側に置かれている石柱

写真 ii-1 (写真 i-18 同様) に写っている左の門柱かと思われる現存の柱には、看板をさげるためのフックが残っている。

